

## 市民アンケート及び若者ワークショップについて

## ■市民アンケート（高校生アンケート）

- 対象者
- ・20歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
  - ・高校生（中野立志館高等学校・中野西高等学校）の約1,500人
- 実施期間 平成26年10月23日（木）～11月7日（金）
- 調査目的
- (1) 市政及び市民生活に対する意識、ニーズの把握
  - (2) 各種施策に対する市民満足度の把握
  - (3) 計画策定への市民参加の促進
- 調査票 資料3-1のとおり

## ■若者ワークショップ

- 参加者
- ・市民（20歳以上40歳未満）
  - ・高校生
  - ・市職員（35歳未満）
- 実施期間 平成26年11月～平成27年2月
- 実施目的
- 第2次中野市総合計画の策定過程において、市民と市職員が「ふるさと中野市を再認識」し、「課題対応」と「未来志向」の両面からのプロジェクト提案を得ることを目的に若者ワークショップを実施します。
- また、将来を担う若者を対象とすることで、地域のリーダーとして活動して行く人材育成を図ることも目的とします。
- 実施内容 資料3-2「実施要領」のとおり

未定稿

# 市民アンケート

～ 中野市総合計画の策定のために、ご協力を!! ～

## ごあいさつ

日頃から市政に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、中野市では、まちづくりの新しい指針となる「第2次 中野市総合計画（基本構想・前期基本計画）」の策定に着手しました。総合計画とは、まちづくりの方向性や分野区分、施策等について、中・長期的な展望に基づき指針を定めるもので、市政運営の最も上位に位置し、かつ基本となる計画です。

そこで、この計画策定にあたり市民の皆様のご意見を反映するために、市民を対象とするアンケート調査を実施することとしました。

ご多忙の折りとは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、是非ともご協力下さいますようお願い申し上げます。

平成26年10月

中野市長 池田 茂

## ご記入にあたって

- 意識調査対象として、無作為抽出（くじ引きのような方法）により20歳以上の市民3,000人を選ばせていただきました。
- 調査票の記入は、封筒のあて名ご本人にお願いします。（お名前の記入は必要ありません）
- お寄せいただいた回答は、統計的に処理します。他の目的に使用することはありませんので、考えたまま、感じたまま、率直なご意見をお聞かせ下さい。
- 回答は、直接、この用紙に記入して下さい。（あてはまる番号を○で囲むなどして下さい）
- 回答をご記入の後、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11月7日（金）までにご投函下さるか、お近くの市職員にお渡し下さい。

この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

中野市 総務部政策情報課 政策推進係 担当：田中、江本

電話：0269-22-2111（代表）・内線216 FAX：0269-26-0349

Eメール： seisaku@city.nakano.nagano.jp

## 1 中野市の魅力について伺います

問1 あなたにとって中野市の魅力は、どのようなところだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

1. 教育や文化の水準が高い
  2. 子育てに対する支援が充実している
  3. 高齢者、障がい者などへの福祉が充実している
  4. 道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である
  5. 身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている
  6. 犯罪が少なく、防災面も充実し安心して暮らせる
  7. 通勤・通学に便利である
  8. 仕事や収入の機会に恵まれている
  9. 山や緑などの自然環境に恵まれている
  10. 農産物が新鮮で、豊かな食生活ができる
  11. 観光資源や歴史的資産に恵まれている
  12. 市民のマナーが良く、快適な生活ができる
  13. 地域での人間関係がよい
  14. その他（具体的にお書きください）
-

## 2 中野市への愛着やイメージ、住み良さについて伺います

問2 あなたは、中野市に自分のまちとしての愛着を感じますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

1. 感じている
2. やや感じている
3. どちらともいえない
4. あまり感じていない
5. 感じていない
6. よくわからない

問3 あなたにとって中野市はどの程度住み良いですか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

1. 住み良い
2. まあまあ住み良い
3. どちらともいえない
4. あまり住み良くない
5. 住みにくい
6. よくわからない

問4 あなたは、中野市に住み続けたいと思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

1. 今住んでいるところに住み続けたい
2. 市内のどこかに住み続けたい
3. 市外に転居したい …… 問4-1 にお答えください。

問4-1 問4で3を選んだ方に伺います。市外に移りたいというあなたの気持ちが変わるとしたら、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

1. 教育・文化環境が今よりも良くなる
2. 子育て環境が今よりも良くなる
3. 健康・福祉環境が今よりも良くなる
4. 道路、公園などの都市基盤が今よりも整備され、生活環境が良くなる
5. 交通の便が今よりも良くなる
6. 市内での自分の商売が繁盛する
7. 通勤に便利なところに転勤（就職・転職）になる
8. 望ましい持ち家が取得しやすくなる
9. 望ましい借家が今よりも供給される
10. その他（具体的にお書きください）

問5 あなたが考える中野市の現在のイメージ（A欄）、また、望ましいイメージ（B欄）について、次の中からあてはまるものを、それぞれ3つまで選び、○をしてください。

A 現在	B 望ましい	
		1. 多様な担い手が積極的に活動できる「市民参加の活発なまち」
		2. 防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」
		3. 健康で長生きできる「健康長寿のまち」
		4. 高齢者・障がい者などの福祉が充実した「誰もが安心して暮らせるまち」
		5. 保育所など子育て環境が充実した「子育てのまち」
		6. 豊かな自然が残されている「自然環境に恵まれたまち」
		7. ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境にやさしいまち」
		8. きのこと、果物、野菜、花など「農業が盛んなまち」
		9. 市外から多くの人を訪れる「観光・交流のまち」
		10. 商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」
		11. プラスチック、精密・電子部品など「工業が盛んなまち」
		12. 学校教育が充実した「教育のまち」
		13. 芸術・文化活動が盛んな「文化芸術のまち」
		14. 道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利で快適なまち」
		その他（ご自由にお書きください）

問6 あなたは、市の名称について、どのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

1. 「中野市」のままで良い
2. 「信州中野市」に変更した方が良い
3. その他（具体的な名称などをお書きください）

### 3 地域活動への参加状況について伺います

問7 あなたは、地域活動などに参加していますか。また、今後、参加したいと思いますか。

次の7つの活動の種類ごとに、現在の状況、今後の意向について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

現状と今後の意向 活動の種類	現在の状況		今後の意向			
	参加 している	参加 していない	参加 したい	頼まれ ば（誘わ れれば） 参加する	参加 したく ない	わか らな い
自治会(区)や子ども会、老人クラブ などの地域活動	1	2	1	2	3	4
お年寄りや障害のある人などへの 福祉ボランティア活動	1	2	1	2	3	4
環境保全やまちづくりなどの 自主的な住民活動	1	2	1	2	3	4
学校の PTA や保育園の保護者会 などの役員	1	2	1	2	3	4
スポーツ・レクリエーション活動 や文化、学習活動	1	2	1	2	3	4
子どもの交通安全や地域の防犯パ トロールなどの活動	1	2	1	2	3	4
農業、商業、観光など経済を活性 化させる活動	1	2	1	2	3	4

## 4 市政との関わりについて伺います

問8 あなたは、市政への市民参加をより活性化するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

1. アンケート、パブリックコメント（意見提案手続）等によりできるだけ数多くの市民の意見を聞くこと
2. 各種の委員会・審議会への市民委員の公募を行うこと
3. 意見や要望を話し合う市民懇談会などを開催すること
4. 行政についての情報公開を充実すること
5. 助言や相談、専門家派遣などの支援を行うこと
6. 自治会(区)の活動に対する支援や協力を行うこと
7. NPO※などの市民団体に対する支援や協力を行うこと
8. 市職員や議員が市民の声を把握し市政に反映しており、市民参加は必要ではない
9. その他（ ）
10. 特にない
11. わからない

※NPO：Non Profit Organization。民間非営利団体などと訳される。利潤を上げることを目的としない、公益的活動を行う民間の団体。その活動範囲は、教育、社会福祉、環境保全、国際交流等多岐にわたっている。

問9 あなたは、市の情報を得る手段として、何をどの程度利用していますか。

次の8つの情報入手手段それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んで下さい。

情報入手手段	利用状況	よく 利用する	たまに 利用する	利用 しない
市が発行する広報紙（広報なかのなど）		1	2	3
新聞・ローカル紙など		1	2	3
テレビ・ラジオなど		1	2	3
ケーブルテレビ・音声告知放送など		1	2	3
家族・知人など、人から聞く（クチコミ）		1	2	3
自治会(区)の掲示板・回覧版などを見る		1	2	3
市のホームページを見る		1	2	3
SNS※（フェイスブックなど）		1	2	3
説明会など地域での集会に参加する		1	2	3

※SNS：Social Networking Service。インターネット上の交流を通して社会的ネットワーク（ソーシャル・ネットワーク）を構築するサービスのこと。近年では、各国の企業や政府機関など多々な分野において SNS の利用が進んでいる。首相官邸においても LINE（ライン）、Facebook（フェイスブック）、Twitter（ツイッター）などの SNS を利用した情報発信を行っている。中野市では、Facebook による情報発信を行っている。

## 5 市役所サービスへの満足度について伺います

問10 市役所のサービス全般に対する、あなたの「満足度」について、次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である
6. わからない



## 6 市の政策に対するあなたの満足度（実感）について伺います

問 11 次の各項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

番号	項目	満足度					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
例	〇〇〇〇が整っている	1	2	3	4	5	6

### 《防災・協働》

1	火災や災害発生時の危機管理体制が整っている	1	2	3	4	5	6
2	市民参加によるまちづくりが行われている	1	2	3	4	5	6
3	地域の区やグループが積極的に活動している	1	2	3	4	5	6
4	市は、行政改革に積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6
5	市は、計画的で健全な財政運営を行っている	1	2	3	4	5	6

### 《健康・福祉》

6	健康相談や検診など健康づくりを支援する環境が整っている	1	2	3	4	5	6
7	高齢者が生きがいを持って社会参加できる環境が整っている	1	2	3	4	5	6
8	障がい者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	1	2	3	4	5	6
9	人にやさしいユニバーサルデザインに配慮した環境が整っている	1	2	3	4	5	6
10	医療保険制度、介護保険制度の安定的な運営を図っている	1	2	3	4	5	6

### 《子育て》

11	安心して健やかに生み育てる環境づくりが整っている	1	2	3	4	5	6
12	地域社会全体で子育て家庭を支援する環境が整っている	1	2	3	4	5	6
13	子どもの権利が尊重される環境が整っている	1	2	3	4	5	6
14	次代を担う心身ともにたくましい人づくり環境が整っている	1	2	3	4	5	6
15	子育てしやすい環境が整っている	1	2	3	4	5	6

番号	項目	満足度				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満

《環境・人権》

16	生活環境の向上や自然環境の保全が行われている	1	2	3	4	5	6
17	資源のリサイクルやごみの減量化が行われている	1	2	3	4	5	6
18	交通事故、犯罪や消費者トラブルが起きにくい地域となっている	1	2	3	4	5	6
19	性別にかかわらずお互いが尊重しあう地域社会が築かれている	1	2	3	4	5	6
20	人権尊重社会のための人権教育が充実している	1	2	3	4	5	6

《産業・経済》

21	競争力のある産地体制が構築されている	1	2	3	4	5	6
22	なかのブランドが確立できている	1	2	3	4	5	6
23	地元商店、工業に活気がある	1	2	3	4	5	6
24	新たな産業や新技術が創出されている。	1	2	3	4	5	6
25	働きたい人が仕事につきやすい環境がある	1	2	3	4	5	6

《教育・文化》

26	子どもたちが、心豊かでたくましく学べる環境が整っている	1	2	3	4	5	6
27	自由に学び楽しむ環境が整っている	1	2	3	4	5	6
28	地域の歴史・文化の保存や活用が適切に行われている	1	2	3	4	5	6
29	音楽や美術などの文化芸術活動ができる環境が整っている	1	2	3	4	5	6
30	誰もが、気軽にスポーツ・リクリエーションに親しむ環境が整っている	1	2	3	4	5	6

《都市基盤》

31	自然と都市が共生できる調和のとれた土地利用がされている	1	2	3	4	5	6
32	鉄道、バス交通が使いやすくなっている	1	2	3	4	5	6
33	日常生活において、使いやすい道路が整備されている	1	2	3	4	5	6
34	安全でおいしい水道水が飲める	1	2	3	4	5	6
35	公共施設が使いやすくなっている。	1	2	3	4	5	6

## 7 市の政策の重要度について伺います

問 12 10年後、20年後の将来、中野市が元気で夢がもてる、安心・安全な都市であるためには、財源に限りがある中で、今後、どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを5つまで選んでください。

分野	番号	項目	分野	番号	項目
防災・協働	1	市民と連携した防災・危機管理対策の徹底	産業・経済	21	個性が輝く多彩な農業・林業の里づくり
	2	情報公開・情報共有のまちづくり		22	戦略的な観光・交流産業のブランドづくり
	3	公益を推進する多様な担い手の育成と連携促進		23	地域を担う地元商業・工業の振興
	4	自助自立の行財政運営と行政サービスの向上		24	新たな産業の創出と育成
	5	長期的展望に立った財政運営		25	活力を生む人材育成と雇用の安定
健康・福祉	6	人生の年代に応じた健康づくり	教育・文化	26	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育
	7	長寿時代の安定したシニア社会づくり		27	学びふれあう社会教育・生涯学習
	8	地域が支えあう福祉体制の確立		28	地域の歴史・文化の保存と活用
	9	人にやさしいユニバーサルデザインのまちづくり		29	文化芸術の振興
	10	医療保険制度・介護保険制度の安定的運営		30	豊かな人間性を育むスポーツの振興
子育て	11	健やかに生み育てる環境づくり	都市基盤	31	都市像にふさわしい土地利用の推進
	12	子育て家庭を支援する仕組みづくり		32	広域交流と連携を支える幹線交通網の整備促進
	13	豊かな子ども時代を過ごすための社会づくり		33	安全で快適な都市基盤整備の推進
	14	次代を担う心身ともにたくましい人づくり		34	水の安定供給と水資源の保全
	15	子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり		35	公共施設等の効率的な維持管理
環境・人権	16	生活環境の保全と自然保護の推進			
	17	資源循環型社会の構築			
	18	市民生活の安全・安心への取組み			
	19	家庭や地域社会における男女共同参画の促進			
	20	人権が尊重される明るいまちづくり			

回答欄（番号を5つまで記入して下さい）

--	--	--	--	--

今後の中野市のまちづくりについて、ご意見等がありましたら、下欄にご記入下さい。

Blank lined area for providing opinions.

## 8 あなた自身のことについて伺います

性別	1. 男性	2. 女性
年齢	1. 20～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳	4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上
職業	1. 農林業 2. 自営業・自由業 3. 会社員・団体職員 4. 公務員 5. パートタイム・アルバイト	6. 学生 7. 家事専業 8. 無職 9. その他 (具体的に： )
居住地区 (小学校区)	1. 中野地区 2. 日野地区 3. 延徳地区 4. 平野地区 5. 高丘地区 6. 長丘地区	7. 平岡地区 8. 科野地区 9. 倭地区 10. 豊井地区 11. 永田地区
現在の中野市 での居住歴	1. 1 年未満 2. 1～3 年 3. 4～9 年	4. 10～14 年 5. 15～20 年 6. 21 年以上
仕事(学業を含む)の場所	1. 市内	2. 市外
世帯の状況	1. 0 歳～15 歳の子どもがいる 2. 65 歳以上のお年寄りがいる	3. 単身世帯(一人暮らし) 4. いずれでもない
お住まい	(持ち家) 1. 一戸建 2. その他	(借家) 3. 一戸建 4. 民間のアパートなど 5. 公営・公社の借家 5. 社宅・寮・官公舎 6. その他
選挙について	1. 毎回必ず行っている 2. ほとんど行っている	3. あまり行かない 4. 一度も行ったことがない

以上で質問は終わりです。皆さまの貴重なご意見は、総合計画の策定及び市政のさらなる向上のために参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、11月7日(金)までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

## 中野市 若者ワークショップ実施要領

## 1. 目的

第2次中野市総合計画の策定過程において、市民と市職員が「ふるさと中野市を再認識」し、「課題対応」と「未来志向」の両面からプロジェクト提案を得ることを目的に若者ワークショップを実施します。

また、将来を担う若者を対象とすることで、地域のリーダーとして活動して行く人材育成を図ることも目的とします。

## 2. 名称

中野市若者ワークショップ

## 3. 参加者及び人数等

区分	人数	備考
①市民	14名程度	平成26年10月1現在で満20歳以上40歳未満 原則公募とする
②高校生	6名	中野立志館高等学校、中野市西高等学校の各3名
③市職員	10名	満35歳以下の職員から公募及び指名
計	30名程度	

## 4. 運営方針

- ① 参加者の報酬は無報酬とします。
- ② ワークショップでは、第2次中野市総合計画策定に向けて、地域の課題や市の将来像などについての意見交換、議論、検討を行い、プロジェクト提案発表を行います。
- ③ 結果はホームページ上で公開します。
- ④ 検討内容、プロジェクト提案などは、総合計画策定に向けた基礎資料として活用します。

## 5. 実施時期と回数

実施時期：平成26年11月から平成27年2月にかけて実施。

実施回数：全5回。(最終回は発表会)

※日程は、6. 内容の表のとおり

## 6. 内 容 (予定)

回	月日	内 容	備考
第1回	11月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オリエンテーション</li> <li>・市長挨拶</li> <li>・自己紹介</li> <li>・ワークショップとは？ルールと流れ</li> <li>・グループや役割分担づくり</li> </ul>	
第2回	12月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふるさと中野を再認識しよう</li> <li>・どんどん出そう！ふるさとの強みと弱み 良いところ・悪いところ(=課題)の抽出と カテゴリ分け【KJ法による整理】</li> <li>●市民アンケート結果の意見交換、議論、検討</li> </ul>	
第3回	1月14日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●検討テーマ設定</li> <li>・総合計画施策体系からのテーマ設定</li> <li>●プロジェクト提案検討シートの作成①</li> <li>・検討テーマの強みと弱みの整理 (課題整理)</li> </ul>	
第4回	1月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクト提案検討シートの作成②</li> <li>・課題対応の検討</li> <li>・未来志向の検討</li> <li>・プロジェクト提案検討シートのまとめ</li> </ul>	
第5回	2月10日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクト提案発表会</li> <li>・プロジェクト提案検討シートに基づき発表 (各グループ15分程度)</li> <li>・市長の講評</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事者及び全 部長の出席</li> <li>・総合計画審議 会委員の出席</li> </ul>

■時間 18:30~20:00 (第5回のみ 17:30~19:00)

■会場 市民会館 41号会議室

## 7. その他

ファシリテータ(進行役)については、支援業務委託業者による。